

# 輝け角鹿

秋の気配…号  
令和3年9月吉日  
敦賀市立角鹿小中学校



## 校長室より

「サザエさん」はご存じですよ？ではサザエさんの年齢をご存じですか？答えは「24歳」です。失礼ながらサザエさんの外見は24歳という年齢よりも少し…と思いませんか？そしてサザエさんの父親である波平の年齢は54歳、奥さんのフネは48歳です。その服装や外見から想像する年齢は、もっと高くないですか？ずっと疑問に思っていたのですが、ついに納得できる説明に巡り会いました。それは「日本人の平均寿命」です。サザエさんが連載を開始した終戦間もない1946年、日本人の平均寿命は男性が50歳。つまり54歳の波平はすでに平均寿命+4歳です。2020年の平均寿命は男性が82歳ですから、今なら86歳ぐらいの感覚なのです。原作者の長谷川町子さんが描いた波平の姿は、当時の54歳の日本人男性の平均的な姿=平均寿命を超えたおじいちゃんの姿だったのです。



ヒトに限らず全ての生き物の一生は、その寿命に応じたサイクルで進むそうです。例えばネコの一般的な寿命は15年。出生→成長→老化→死というサイクルを15年で終えます。ですから生後1年で一人前の成猫となり、7歳くらいから老化が始まります。もしもネコの平均寿命が30年に伸びたらどうなるか、全ての段階が2倍になるそうです。つまり成長に2年かかり、老化が始まるのが14歳というわけです。このことを人間に当てはめてみましょう。サザエさんの時代の男女合わせた平均寿命が52歳、そして現代は85歳ですから、約1.6倍伸びています。つまりそれは生まれてから大人になるまでの期間も1.6倍かかるということ。例えば現代の20歳は、75年前はまだ13歳程度…ということになります。小中学生で考えるなら、今の中学3年生(15歳)は、昔の小学校3年生(9歳)と同等…という計算です。もっとも75年前と今とは栄養状態も生活環境も教育内容も違いますから、今の中3は昔の中3より身長、体重、運動能力ともかなり優れていますし、価値観や知識も現代社会に適応した「かしこさ」を持っています。ですが一方で「幼さ」を感じる場面を学校生活のあちこちで見かけるのも事実です。保護者のみなさんはいかがですか？例えば中1のお子さんがいるご家庭で、ご自分が中1だった頃と、目の前にいる中1のお子さんとを比べると、「幼さ」を感じる時がありませんか？もし感じたとしたら、それは「ごもっとも」な感覚です。お子さんの成長が平均より遅いわけではないのです。

よく「今の子どもは何を考えているか分からない」という声を聞きます。その原因の一つはもしかすると親が、子の成長スピードは過去の自分と同じだという思い込みを基に対話しようとするところから生じる誤解かもしれません。今の子ども達は、私たちが子どもの頃よりもずっとゆっくりした時間の中で育っているのです。いつか一人前の大人に育つのは間違いないのですが、それは私たち大人(親)世代の感覚よりも「少し後」のことになるのです。



ところが社会の流れはどんどんスピードアップしています。法的な成人年齢は来年度から18歳になります。情報化や技術革新の速さは倍々ゲームです。社会の発展速度と、生き物としてのヒトの成長速度との乖離(差)は増すばかりです。それに合わせて「子育て」の難しさも増しています。こんな中必要なのは「学校と家庭の一層の協働と理解」です。この二者が相反しては、間にいる「幼い」子どもは戸惑うばかりです。令和3年度も折り返し地点が近づいてきました。よろしくお祈りします。

## 9月~10月の予定

### 9月

- 9日(木) 小3 校外学習
- 10日(金) 小4 校外学習
- 13日(月) 旧校舎解体・グラウンド整備開始
- 16日(木) 小6 修学旅行
- ~17日(金) 中学校期末考査
- 22日(水) 中学校後期生徒会選挙

### 10月

- 1日(金) ~2日(土) 二州地区新人競技大会
- 8日(金) 通知表配付(小中とも・給食あり)
- 9日(土) ~12日(火) 秋季休業
- 13日(水) 2学期開始 給食あり(午後下校)



## お知らせ… 今後の学校行事の持ち方と、小学校の体育大会について

授業再開から2週間が過ぎようとしています。おかげさまで今日まで平常の学校生活を送ることができています。ありがとうございます。保護者のみな様には、授業再開にあたり学校での感染拡大を心配される方もいらっしゃるかと存じます。学校生活においては、子どもの安全、安心を守ることが最優先です。また同時に学校は、登校した子どもの学習を保証し、かつ心身の健全な育成を支援することが存在意義であり使命です。本校ではこの2つを両立させることに最大限の努力を払いながら、日々の教育活動を行っていく所存です。そこで今後の学校行事について、本校では次のような基本方針に従って進めていきたいと考えています。しかしこの方向性は、保護者のみな様のご理解とご協力なしには一歩も前に進めません。各ご家庭では、様々なお考えやご事情もあろうかと存じます。可能な範囲でのご理解、ご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



### ◎現状理解

- ・新型コロナウイルスによる感染は敦賀市においても拡大事例が認められ、また変異ウイルスの出現により未成年への感染拡大が各地で報告されています。感染拡大地域での緊急事態宣言の再延長も確実視される中、今後も予断を許さない状況が続くと予想されます。
- ・本県でも独自の緊急事態宣言が発出される中、新規感染者数は増減を繰り返しながら徐々に減少する傾向であり、また12歳以下へのワクチン接種もある程度進捗してはいますが、現在行っている感染予防対策を緩和する状況ではなく、逆に一層の引き締めが必要です。

### ◎学校行事に関する具体的な対応

- ・以上の状況を踏まえ、学校はこれまで行ってきた感染予防対策の改善と一層の徹底を今後も継続しながら、子ども達の学習活動を最大限可能な形で維持していきたいと考えます。
- ・中でも様々な学校行事や校外学習は、学習の一環として大変重要な役割を担うものであり、子ども達にとっても学校生活の節目として、また学習に向かうモチベーションを高めるためにも欠かせない活動です。そこで、できる限り可能な形で実施したいと考えています。
- ・一方で各行事に伴う保護者、地域の方々等の「大人」の出入りについては、受付での検温やチェックに人手が取られ、子ども達への指導が手薄になる懸念と、密の防止等、十分な対応ができない可能性を排除できません。そこで原則として制限する方向を維持していきます。

### ◎基本方針…以上を踏まえ、次の2点に基づいて当面の諸活動を運営していきます。

- 児童生徒だけの学習活動(行事)は、校内、校外とも可能な範囲で実施する。
- 保護者の参加、参観を前提にした行事は原則として実施しない。

そこで…

### ☆小学校の体育大会について

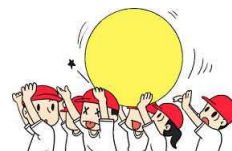
当初10月21日に予定していた小学校体育大会については、基本方針に基づき次のように実施します。参観を楽しみにしておられた保護者のみな様には大変申し訳ございませんが、どうかご理解いただけますよう、お願いいたします。

- 体育大会は、学団ごとに本校体育館で分散して開催します。  
(屋内でできるレクリエーション的な種目を主とします。集団演技等はいりません。)

#### ○保護者の参観は行いません。

10月 19日(火)小1、小2  
20日(水)小3、小4  
21日(木)小5、小6

いずれも2限~3限に実施。その他は通常時程(給食あり)



### ☆その他の各行事について

- 各学年の校外学習等は、原則として予定通り実施しますが、訪問先での感染予防対策が十分にとれないと判断した場合は中止します。
- オープンスクールは、今年度中の開催は困難と考えています。しかし小1や中1に限って分散開催する等、今後の感染状況を見ながら模索していきます。卒業生を送る会なども同様です。
- 卒業式は、現在のところ昨年度と同様、卒業生の保護者と一部の在校生とで、短時間で開催する方向です。

高校への進学率は 98.8 %となっています (2020 年度)。

98.6 17位

犬や猫の年齢をよく人の年齢に言い換えることがあります。

その時の法則は、犬、猫の平均寿命を、人間の平均寿命に終わりをそろえて、間を平均して分配するわけです。

たとえば、猫の平均寿命を 20 年として、日本人の平均寿命をわかりやすく 80 年とすれば、猫の年齢を人間の年齢に換算する式は、

猫の人間換算年齢 = 猫の実年齢 × 4 (これは 80 / 20) となるわけ です。

10 才の猫は、人間で言えば 40 歳、ということです。

これと同じように、以下考えて見ます。

たぶん、今の若者はきっと 90 歳くらいが平均寿命になるのでは、と思います。

すると、以下の換算が可能なのです。

①仮に、1980 年代の平均寿命が 70 歳とすれば、

今の 20 才の若者は  $20 \times 70 / 90 = 15.6$  才相当くらい。

②また太平洋戦争のころの日本人の平均寿命が 55 歳とすれば、

今の 20 才の若者は  $20 \times 55 / 90 = 12.2$  才相当くらい。

A 1980 年代に実年齢 20 才の人と年齢スケールを合わせると、

今の 20 才の人は 15.6 才相当にしかなっていない、ということです。

B 太平洋戦争時代に実年齢 20 才の人と年齢スケールを合わせると、

今の 20 才の人は 12.2 才相当にしかなっていない、ということです。

なお、IQ (知能指数) の計算では、人間の知能は加齢とともに賢くなる、という前提があります。

以上から、現代の日本人は、過去の日本人とは同じ年齢でも、大きな差ができてしまった、ということになります。

これをよく、精神年齢が若い、なんて表現することがありますね。

平均寿命が短い国の人が真剣に生きていることに比べ、平均寿命が長くなる国の若者の成熟が遅れている、ということがこれで証明されたのでしょうか。

我が国では社会の高齢化が進むなか、一方で人の身体年齢はどんどん若返っていると感じているのは私だけではないと思います。

漫画「サザエさん」の波平さんとフネさんの年齢をご存知でしょうか。驚くなかれ、54 歳と 48 歳です。その年齢にしてはずいぶん老けているなあ、とお思いでしょうが、これは「サザエさん」の連載が始まった戦後まもなくの頃 (今から 70 年前) の 54 歳と 48 歳の男女の姿を表しているのです。

漫画「天才バカボン」のバカボンのパパ。ハチマキと腹巻をしたあの姿で「41 歳の春」です。

確かに私の幼いころ（今から40年ほど前）、あのようなおじさんはいましたし、あれで41歳でも違和感はなかったと思います。今は皆無でしょう。

現代社会は高齢化が進み、加齢により病気や要介護状態になる人は確かに増えています。しかし一方で健康な中高年は昔に比べて実年齢より大変若々しいと感じます。

誰が言い出した説か分かりませんが、現代の健康な人々の身体はひと昔に比べ実際の年齢の七掛けと言われます。これを「年齢七掛け説」（または人生七掛け説）と言います。60歳の人であれば42歳、70歳で49歳、80歳で56歳、90歳で63歳、そして100歳で70歳ということです。70歳と言えば古稀。確かに昔の70歳であれば「古来稀なり」と言われたでしょう。しかし今や100歳でもあまり稀ではなくなっていることを考えると、この「年齢七掛け説」は信ぴょう性があると感じます。お元気な中高年の皆さま、ぜひ自信を持っていただければと思います。

ところで自分も今年は50歳になります。七掛けすると身体年齢は35歳。そう聞くと嬉しくなるのは、それだけ年を重ねたからなのでしょう。

とはいえ、いずれにしても人生必ず老い、病み、そして死を迎えざるを得ません。アンチエイジングに心がける一方で、いつかは老いていく自らの体の状態を冷静に受け止める心を養っていく、そんな精神の鍛錬も、なかなかできるものではありませんが、やはり大切だと感じるこの頃です。

本年もどうぞお健やかに過ごしてください。

みなさんのお子さんは、年齢なりに自分の事を自分でできますか？ 親御さんがあれこれ手をかけたり、「こうしなさい」と先回りして口出ししてしまっていないですか。わが子がつまづいて挫折してほしくないばかりに親がつまづきそうな要因を取り除いてしまう……。そうすることが子どもの自立を阻んでいるとしたら？

「最近の子どもは実年齢よりマイナス4歳ぐらい幼い印象の子が増えている」と、進学塾「VAMOS」の代表で、日本サッカー協会登録仲介人として若手プロサッカー選手の育成も手がけ、アスリートと学習教育に共通する「成長プロセス」の体系化にも取り組む富永雄輔さんは言います。

はたしてそれはなぜでしょうか。子どもを年齢なりに自立させるために親はどうすればいいのかを伺いましたのでご覧ください。

（取材・文：前田陽子）

## ■以前に比べて、子どもたちは実年齢より4歳幼い!?

——大学入試に親が同行することが普通となりつつありますが、どう思われていますか？

受験のみ、住まい探しなどは別の機会に行う前提ですが、保護者世代の方々の経験として、遠方に入試に行く際に、子どもが女子だとまれに親御さんが会場まで一緒に行く方もいたと思いますが、男子の場合はなかったですね。最近では男女問わず親がついていくことも増えつつあり、子どもの方も親と一緒にいくのが安心という子もいるようです。

そういった、自分で行動する面なども含め、今の子どもたちは実年齢より4歳くらい幼い印象です。ここ5～6年、特に男の子に幼さが残っていると感じる人が多いですね。同様の事は、同業者の中でも聞くことが増えました。

「幼い」と聞くとネガティブなイメージを持つかもしれませんが、悪いことばかりではないと思います。どの子もずっと幼いままでいるわけではなく、成長が緩やかなだけで、どこかで追いつきますので、たとえ今お子さんが他の子より精神的に未熟だとしても心配しすぎないでください。では、どうして今の子どもたちが幼いかというと、子どもたちがダメージを受けると立ち上がれないからです。「挫折したら立ち上がれない」「ルールを外れたら戻れない」という空気があり、それでも立ち上がれる子はいるのですが、多くの場合は自分の子が大きな挫折をしたら立ち上がれないことがわかっているから、わが子にダメージを与えないようにと親が先回りをして、つまづく要素を取り除いてしまう。その悪循環が突き進みすぎていると感じています。

——確かに。子どもたちを守ってあげたいという気持ちはわかりますが、それで社会に出て大丈夫かと心配になります。

生物の世界には生存競争があって、勝ち残らなければいけないという本能があります。少し前から「徒競走で順位をつけない」「成績をつけない」などの動きがありますが、社会に出て全員が同

じ条件で同様なチャンスが与えられることは 100%ありません。

子どもの幼さを増長している要因のひとつは、大人がチャンスを強制的に与えるからだと考えています。昔の部活では、部内の競争を経て 18 名のメンバーが決められ、そこからスタメンの 11 名を目指す。全員に与えられたチャンスを生かせるか、生かせないかは個人の努力や力で、その過程が子どもたちを成長させました。けれど、今の子どもたちはチャンスが過度に与えられることで競争する必要がない＝無理やり成長をしなくて良くなっているのです。

### ■子どもが幼いのではなく、大人が幼い子どもを作っている

——プロとして活躍している選手たちの子ども時代はもっと大人だったと思いますか？

近年様々なジャンルでトップ層の子どもは考えがしっかりして成熟している子も多いと思います。サッカーでいうと、今、スペインで活躍している久保建英選手は 19 歳ですが、20 年前の 19 歳に比べて格段と大人です。インタビューの受け答えなども、とてもしっかりしていますよね。勉強でも東大に入って「東大王」などに出ている子たちは、勉強だけでなく、幅広い知識や柔軟な発想が求められるクイズもできる。どの子も非常に要領が良く、セルフプロデュースに長けているんです。天が二物を与えた子がたくさん出てきている一方で、前述したように幼い子どもたちも増えているという状況です。

——同年代の子どもたちで差が出るのは、なぜでしょう。

今の子どもたちは自分で選択せず、大人が与えた環境の中で過ごしています。それは子どもにとって言い訳しやすい状況です。そういう状況を大人が用意し続けた結果が、子どもの成長を妨げていると感じています。

『親が出すぎる→過度な公平な機会を与える→順位を付けない→厳しくしない→成長しない』そんな循環ができてしまっています。順位付けをしない、厳しくしないというのは、指導者からするととても楽なことなのです。チームを強化する必要がないので、子どもたちを公平に扱うことさえすればいいだけです。プロセスに重点を置いて楽しもうという方針にも利点はたくさんありますが、結果を求められないことは指導者にとって非常に楽という側面もあるのです。今の子どもたちはいろいろなことから守られすぎている結果、幼さが残っているのかなと思います。何でもかんでも厳しくしなければいけないとは言いません。けれど、競争をさせたら出来る子はたくさんいます。子どもは頑張れるのに、大人がその環境を取り除いてしまうので、頑張り方を知らない子が多すぎるのです。

### ■親は現実を直視しよう

——親はどう接していくべきだと考えますか？

親御さんの多くが、現実を直視できていないと感じています。日本代表やオリンピック代表を見れば、おのずと過保護で伸びる子が少ないというのはわかるはず。サッカーは飛び級が許されているので、高校生でプロになる子も少なくありません。プロになったら何歳であろうと大人と一緒にプレーをします。15 ~ 16 歳で大人扱いをしてあげなければいけないことに、親が早く気が付くことが重要です。

プロを目指しているのではないので.....。と思う人もいるかもしれません。けれど、自分の学年より上のカテゴリーの試合に出る機会がサッカーには多くあります。上の年代の人たちと一緒にプレーをして、自分の意見を言う。そういう環境は身近にあると思います。子どもは勝手に大きくなりません。親の関わり方によって、子どもの成長が変わることを肝に銘ずること。親が周囲の人たちにどう接していくべきかを考え、実行することで子どもの今後が左右されるのです。

フグ田サザエ 24 歳 旧姓：磯野

磯野波平 54 歳

磯野フネ 50 歳 ※公式大図鑑、公式 HP での設定、Wikipedia 等では 52 歳と紹介されている。旧姓：石田

フグ田マスオ 28 歳 海山商事営業課勤務、早稲田大学卒

磯野カツオ 11 歳 小学校 5 年生 (かもめ第三小学校 5 年 3 組)

磯野ワカメ 9歳 小学校3年生 (かもめ第三小学校)  
フグ田タラオ 3歳

先週、東京・板橋区の踏切で31歳の女性が電車にはねられ死亡しました。その後の取材で事故の原因が女性の“ながらスマホ”とみられることが分かりました。

今月8日の午後7時半頃、東武東上線「東武練馬駅」の脇の踏切で、近くに住む31歳の女性が電車にはねられ死亡しました。はねられた際、女性は踏切の中で遮断機の前に立っている状態でした。